



# STOP! 介護崩壊 介護ウェーブ推進ニュース

## —介護ウェーブの“Big Wave”をおこそう！—

### 介護改善を求める「9.26国会行動」速報 No.02

集約した署名は全日本民医連にお送りください -265,614筆-

### 「9.26国会行動」で全国のこの間の取り組みを交流！

介護ウェーブ「介護改善を求める9.26国会行動」(9月26日)の全体会で、6県連からこの間の取り組みが報告され、経験交流が行われました。

**及川氏（東京民医連事務局）**は、06年の東京21区の介護保険特別会計が予算に対して90%（501億円）の執行率で、介護保険給付費準備基金の残高は330億円（07年度）にも上っている保険者の財政状況を説明し、介護問題を日常的に考える組織として、「介護をよくする東京の会準備会」を立ち上げ、今後の介護保険の改善をすすめていく運動の母体として様々な団体、個人と共同して取り組んでいくこと等を報告しました。

**酒井氏（福井医療生協）**は、介護職員が中心となり、青年職員が前面に立った取り組みを紹介し、9月13日のシンポジウムで、市民から「介護の現場が大変なことをもっと発信してほしい」と感想が寄せられたこと等を報告しました。

**加藤氏（千葉勤医協）**は、署名の取り組みを紹介し、利用者の送迎で朝お願いし帰りに受け取る、診療所や病院の前に署名台を設置し、患者さんが来たらお願いする等、「マラソン署名行動」と位置づけ取り組んできた経験等を報告しました。

**荒居氏（山梨勤医協）**は、キャラクター（介護なみさん）をつくり、運動を盛り上げて取り組んできたこの間の経験を紹介し、様々な団体に呼びかけ立ち上げた実行委員会主催で、11月15日に「山梨介護フォーラム」を開催すること等を報告しました。

**沢野氏（北海道）**は、北海道連絡会の独自署名が3万筆を超える等、この間の取り組みを紹介し、1週間前に行った厚労省交渉と議員要請行動では、対応してくれた議員秘書は、「介護問題は党派を超えて取り組まなければいけない」、参加者から、「声を上げていくことで国を変えていけると感じた」「今度の総選挙で私たちの要求に賛同してくれる議員を増やさないといけない」などの感想が出されたことを報告しました。

**内田氏（大阪淀川勤労者厚生協会）**は、県連の委員会で、取り組みは介護の現場の仲間が立ち上がらないと意味がなく、上からおろしていく発想はやめようということを位置づけ、推進してきた経験を紹介し、介護ウェーブTシャツや、介護ウェーブマグネットシールを車に張るなど、現場の創意工夫の取り組み等を報告しました。



# 議員要請行動で、8名の国会議員が紹介議員として快諾

国会議員要請行動では、衆議院・参議院の全厚生労働委員 70 名に要請を行いました。10月 2 日現在で、8 名の国会議員（以下参照）から快諾の返事を受けています。今後、多くの国会議員からの連絡が期待されます。また、私たち民医連の介護改善要求に賛同してくれる国会議員を一人でも多く増やすために、現場ぎわでは、地元選出の国会議員への働きかけも行っていきましょう。

- 萩原 誠司 衆議院議員（自民党）選挙区：中国
- 岡本 充巧 衆議院議員（民主党）選挙区：東海
- 高橋 千鶴子 衆議院議員（共産党）選挙区：東北
- 穀田 恵二 衆議院議員（共産党）選挙区：比例
- 細川 律夫 衆議院議員（民主党）選挙区：北関東
- 大河 原雅子 参議院議員（民主党）選挙区：東京
- 足立 信也 参議院議員（民主党）選挙区：大分
- 小池 晃 参議院議員（共産党）選挙区：比例

## STOP! 介護崩壊 事務局短信 「介護1000事例」の取り組みについて【お知らせ】

介護1000事例の取り組みは、8月末までに全国から寄せられた527事例で、9月17日に中間取りまとめをマスコミに公表しました（介護ウェーブHPに掲載しています）。9月29日にキャリアブレインで報道され、シルバー新報やケアマネドットコム等からも報道に向けて問い合わせがありました。

現在多くの事例が寄せられており、10月に最終とりまとめを行い、記者会見を実施します。寄せられた事例では、要介護から要支援認定になり福祉用具を利用できなくなった事例や、半径500メートル以内に家族が住んでいると訪問介護の生活援助サービスを利用できないといった深刻な事例がたくさん寄せられており、さらに介護ウェーブの運動を拡げ、改善させていくことが重要です。

- ①今後も1000事例を目標とし取り組みを続けますが、9月30日までにお送り頂いた事例は必要な検討を加え、最終とりまとめに掲載します。（以降に寄せられた事例は各都道府県連にお送りするようにさせて頂きます）
- ②各地で集約した事例を、自治要請行動などに生かしましょう。事例を通して介護保険の問題点を自治体に伝え、国への改善意見書提出、自治体の独自施策の実施を求めましょう。

## STOP! 介護崩壊 介護ウェーブ宣伝ビラ「介護保険の大幅改善を求めます」近日完成

宣伝行動や共同組織の班会などで利用できる、宣伝・配布ビラが完成しました。来週中には各県連に発送する予定です。新署名の取り組みと併せ、改めて街頭宣伝行動などを取り組み、一人でも多くの市民に介護の状況を知らせ、介護改善要求を訴えていきましょう。

## 11月11日「介護の日」には、全国で統一行動を

介護ウェーブの秋からの取り組み方針では、11月11日「介護の日」に、全国で統一した行動を提起しました。午後から駅前で宣伝・署名行動、夜は地域の事業者にも呼びかけ、学習会を企画している法人もあります。11月11日「介護の日」は、全国で企画を行い、介護ウェーブの“Big Wave”を起こしましょう。

## STOP! 介護崩壊 いよいよ介護報酬の改定に向けて本格的な議論が開始されます

本日の各新聞でも報道されていますが、昨日、厚労省が「介護事業経営実態調査」を公表しました。明日、介護給付費分科会が開催され、介護報酬改定に向けた本格的な議論が始まります。

お問い合わせは、「介護ウェーブ推進本部」事務局：山平・名波まで

TEL 03-5842-6451 / FAX 03-5842-6460 / E-mail min-kaigo@min-iren.gr.jp